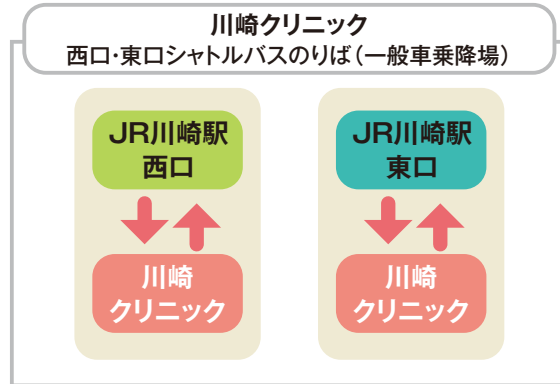
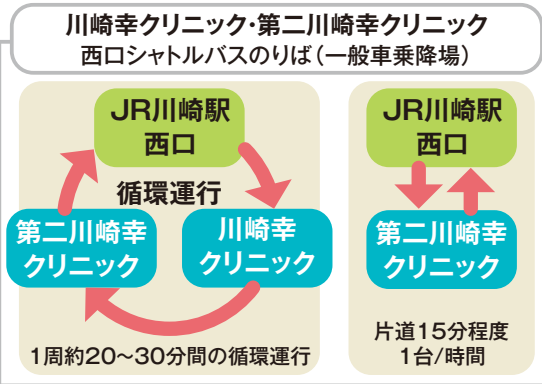
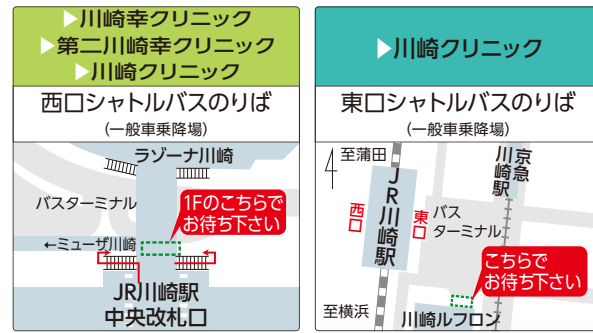


あおぞら

JR川崎駅から各クリニックまで
 シャトルバスを運行しております、
 ご利用ください。

バスをご利用の方は、
 必ずマスクをつけてください。

現在、川崎幸病院経由のシャトルバスの運行は、
 全便運休しております。



川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック

<時刻表> (平日・土曜午前 ※土曜午後、日曜、祝日は運行なし)			
	乗り場	月曜日～金曜日	土曜日
始発	JR川崎駅西口	8:15	8:15
最終	川崎幸クリニック	16:40	13:00
	第二川崎幸クリニック	17:00	

※ご利用される方々の状況により、到着時間が遅れる場合があります。
 ※道路状況・利用状況により、所要時間が遅れる場合がございます。



シャトルバスは定員9名の
 ワンボックスカーです。

川崎クリニック

④ 川崎クリニック ↔ 西口				⑤ 川崎クリニック ↔ 東口	
運行は月～土曜日(祝日含む)、日曜日は運行していません。					
時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行	
8		15 45		15 30 45	
9	この時間帯は運行していません				
12					
13	30	45	20 40	30 50	
14	00 30		00 20 40		
15	00		00		

※シャトルバスのご利用条件は、川崎クリニックにて外来受診した方および透析患者様
 となっています。バスのみの利用はご遠慮下さい。※川崎クリニック発西口シャトルを
 ご利用の方で、川崎幸病院、川崎幸クリニックへご受診の方は、途中下車が可能です。
 運転手にご用命ください。※川崎クリニック発のシャトルバスは1F薬局側からの出発と
 なります。出発前に御声掛け致しますので1F薬局横の待合室にてお待ち下さい。

※ご利用される方々の状況により、乗車できない場合がございます。
 ※道路状況・利用状況により、所要時間が遅れる場合がございます。
 ※満員の場合は出発時間を待たずに発車する場合がございます。

救急・急性期医療・放射線治療
川崎幸病院
TEL:044-544-4611(代)
一般外来(外科系・消化器系)
第二川崎幸クリニック
外来予約:044-511-2112
人間ドック・生活習慣病健診
アルファメディック・クリニック
予約:044-511-6116

入院・一般外来
横浜石心会病院
外来予約:045-581-1417
一般外来・人工透析
川崎クリニック
外来予約:044-222-9259 透析センター:044-211-6500
企業健診・一般健診
川崎健診クリニック
予約:044-511-6116

一般外来(内科系・小児科)
川崎幸クリニック
外来予約:044-511-2112
一般外来・人工透析
さいわい鹿島田クリニック
外来予約:044-556-2722
定位放射線治療・脳ドック
新緑脳神経外科
TEL:045-355-3600

在宅事業部
在宅医療・在宅看護・在宅介護

さいわい訪問看護ステーション 新川崎居宅介護支援事業所 福祉用具レンタルさいわい かしまだ地域包括支援センター
--

いま求められる医療をもっと高めたい 社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院／横浜石心会病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／さいわい鹿島田クリニック／新緑脳神経外科／アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック／石心会グループ在宅事業部
 発行責任者：石井映禮 編集長：辻田征男 〒210-0024 川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進ビルディング3階 電話：044-381-3366(代) <http://www.sekishinkai.or.jp>

特集：新緑脳神経外科が取り組む 『地域で診る医療』

2024

夏号

ご自由にお持ちください



新緑脳神経外科が取り組む

『地域で診る医療』



新緑脳神経外科
太田 誠志 院長

2003年の開院以来、脳神経外科を中心に地域に寄り添った医療と『サイバーナイフセンター』として高精度放射線治療の提供を行っている新緑脳神経外科（横浜市旭区市沢町574-1）。地域性と専門性の両方を兼ね備えた新緑脳神経外科が現在担っている役割と今後について太田誠志院長に伺いました。

地域の方が『ここに住んでいて良かった』と感じられる存在になれるように。

新緑脳神経外科が地域で担う役割をどのようなものとお考えですか？

当院が想定している『地域』は2つあります。1つは、当院の所在地『横浜市旭区』と隣接する『保土ヶ谷区、戸塚区など』という地域です。こちらでは脳神経外科を中心とした医療で、住民の方の健康の管理と安心の提供を行う役割があります。その為、『新緑脳神経外科』という名称ですが、呼吸器内科、循環器内科、整形外科を擁し、一般的な診療にも対応しています。もう1つは放射線治療を手掛ける『サイバーナイフセンター』が考える地域です。こちらには、もう少し広い範囲の地域や他の医療機関を含め、より専門性の高い医療の提供を担っています。

院長に就任された12年前（2012年）と現在で変化を感じる点はありますか？

地域の『高齢化』を大変感じます。横浜市旭区は、市内でも高齢化が進んでいる地域です（老年人口比率：29.7%／横浜市第3位*）。年齢が高くなるにつれ、健康状態も変わってきますので、当院も対応できるように『脳神経外科』

に加えて他の診療科を開設した経緯があります。その一方、整形外科や内科診療の充実やMRIを増設したことで、若い層の患者さんもいらしてくるようになり、環境や時代に合わせた医療の展開の大切さを目の当たりにしています。

※データでみるあさひ2024・横浜市旭区役所



『糖尿病内科』の開設(予定)も、『地域の声』の一つでしょうか？

はい。『糖尿病』も国民病と言える程、患者さんが増えています。そして、『ここ(新緑脳神経外科)で、糖尿病も診て欲しい』との声を頂き、開設の準備を進めています。少し話は異なりますが、駅からの無料送迎サービスも、地域の方のご希望に応じて導入しました。手が届いていない部分もありますが、今後も患者さんが、どのようにすれば喜んで頂けるか考え、可能な限り、応えていきたいです。



『サイバーナイフセンター』について教えてください。

2005年に日本で5番目、関東で最初に『サイバーナイフ(定位放射線治療装置)』を導入し、がん治療を入院せず外来で提供できることが、当院の強みでした。しかし、現在では様々な病院が装置を導入し、外来治療を実施しています。



一方で、患者さんそれぞれに最適な治療方法や装置(複数の種類があるため)を選択する必要があるため、石心会グループ内での連携に加え、他医療機関とも密な関係を築き、ご紹介や受入れができるようにしています。

あくまで患者さんを主体とし、垣根を超えて『地域で診る』医療を実践し、それを今後も続けたいです。



『脳ドック』と『認知症の診療』についてお聞かせください。

脳ドック学会のガイドラインに準拠した3つのコースを実施しています。その一つの基本コースに『認知機能診断』を加えた『物忘れコース』が

あります。

そして、『日本認知症学会専門医』であり、脳神経外科医でもある当院の帯刀光史副院長が『認知症外来』を担当し、検査から診療まで一貫してできる環境を整えています。

院内が非常に明るい印象を受けました。

病院は治療や癒しを求めている場所ですので、快適な空間を提供することも我々の仕事です。



その一つとして、絵画や写真を飾ることで心の面も和らぐような場所作りを意識しています。

またそれは『働いているスタッフ』に対しても、気持ち良く働き、勤務していることが誇りに思える環境や雰囲気作りをし、その活力が患者さんをサポートする力になると考えています。

今後の展望をお聞かせください。

例えば、スポーツ医学や予防医学に力を入れてみたい思いを持ちながら、『高齢化』という地域の特性を考え、やはり『脳卒中』や『心筋梗塞』、『フレイル』の予防に力を入れたいです。そして、地域の方が『ここに住んでいて良かった』と感ぜられるクリニックになれるように貢献していきたいです。

メッセージ



新緑脳神経外科
太田 誠志 院長

『「ためらわずに」受診をしてください』ということが最もお伝えしたい点です。

『このようなことで受診をして良いのか』、『この診療科で良いのか』など、迷ったり、不安を感じたりすることがあると思います。しかし、一度は診ないことには何も始まりませんので、ご自身で判断せず、心配な時は医療機関をご受診ください。

新緑脳神経外科

診療科



脳神経外科



呼吸器内科



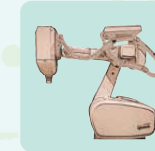
整形外科



循環器内科



脳神経内科



放射線治療科
(サイバーナイフ)



リハビリ
テーション科

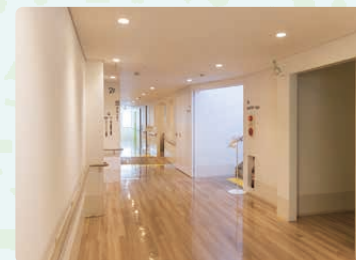


ラウンジ

〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町 574-1
代表電話：045-355-3600

受付時間：月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時
土曜日 午前8時30分～午後12時

【脳ドックはWebでの予約が可能です】
Web：<https://www.syck.jp/>



待合に続く廊下



2Fを示すサイン



空気を循環させるシーリングファン

川崎幸病院 佐藤久美子 副院長 / 看護部長 『第59回神奈川県看護賞』受賞

川崎幸病院の佐藤久美子 副院長 / 看護部長が、『第59回神奈川県看護賞』を受賞し、看護の日(5月12日)にちなんだ看護週間の5月16日に看護賞贈呈式が神奈川県立音楽堂で開催されました。

『神奈川県看護賞』は、多年にわたり神奈川県内において、保健師、助産師、看護師等としてその業務に励み顕著な業績をあげた方々を表彰し、その功労に報いるとともに、県民の看護に対する理解を深めることを目的として昭和41年に設けられた表彰

制度です。

佐藤 副院長 / 看護部長は『キャリアラダーと教育システムの構築、救急救命士(EMT)と看護師との連携』が評価され、当日は、黒岩神奈川知事より賞状を授与されました。



(左) 黒岩祐治 神奈川知事
(右) 佐藤久美子 副院長 / 看護部長

第二川崎幸クリニック 開院10年目

第二川崎幸クリニックが2024年7月に開院10年目を迎えました。

開院の際、第二川崎幸クリニック・関川浩司院長の「通院されるがん患者さんへ癒しの場を提供したい」という想いから始まったオープンギャラリーでのアート展示も、コロナ禍の休止を乗り越えて再開し、3階ラウンジでは、毎月第二土曜日にプロ奏者による演奏会の開催が始まりました。

今後も、医療機関でもあり、人が集まる憩いの場としてお気軽にご来院ください。



PR TIMES STORYにて「第二川崎幸クリニック」のSTORYがご覧になれます。



※医療施設内でのコロナ対策のため、当分の間はマスク着用にご了承ください。



3階 診察室へ続く渡り廊下



マイナンバーカードの保険証利用について

2024年12月2日より、現行の健康保険証は発行されなくなります。

以降は、マイナ保険証(保険証として利用登録されているマイナンバーカード)の提示が原則となります。

マイナ保険証の登録方法や詳細につきまして

は、厚生労働省のWebサイトをご確認ください。



厚生労働省Web『マイナンバーカードの健康保険証利用について』



私の街紹介



ラゾーナ川崎プラザ



三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザは、2006年9月に「東芝川崎事業所跡地」にオープンいたしました。

当施設は、川崎駅に直結し「都市部の利便性・ファッション性」と「郊外のゆとりある日常」を融合させた、多様なニーズに対応する商業施設になることを目指しています。また、地域・立地特性に基づいた魅力溢れるテナントや施設により、お客様にとって、単に「モノ」を手に入れる場にとどまらず、新たなライフスタイルの発見や、コミュニティ活動の場になることも目指しています。

そして、人々のコミュニティの核となるべく、建築コンセプトを「大屋根のある街」としており、

スペイン人の建築家リカルド・ボフィル(Ricard Bofill)氏が設計を担当し、多彩なイベントが実施可能な直径約60mのルーファ広場や、四季折々の緑が楽しめる「四季の道」など、駅前でありながら人々のコミュニケーションの場、憩いの場となる開放的な空間を設けています。

【施設情報】

名称:三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ
所在地:神奈川県川崎市幸区堀川町72-1
TEL(代表):044-874-8000(自動音声案内)
TEL受付時間:10:00~18:00
WEBサイト:<https://mitsui-shopping-park.com/lazona-kawasaki/>



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

「みんなの健康塾ちゃんねる」情報

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしております。

Webサイトでは動画の他、トレーニングやレシピを掲載した冊子、学校向けダウンロード教材をご覧いただくことができます。また紙媒体「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しております。

WEB 詳細はこちら

みんなの健康塾ちゃんねる 検索



LINE 公式LINEはこちら



おすすめコンテンツ



横浜石心会病院
リハビリテーション科
宮崎 陸 理学療法士



役に立つ
情報が
いっぱい